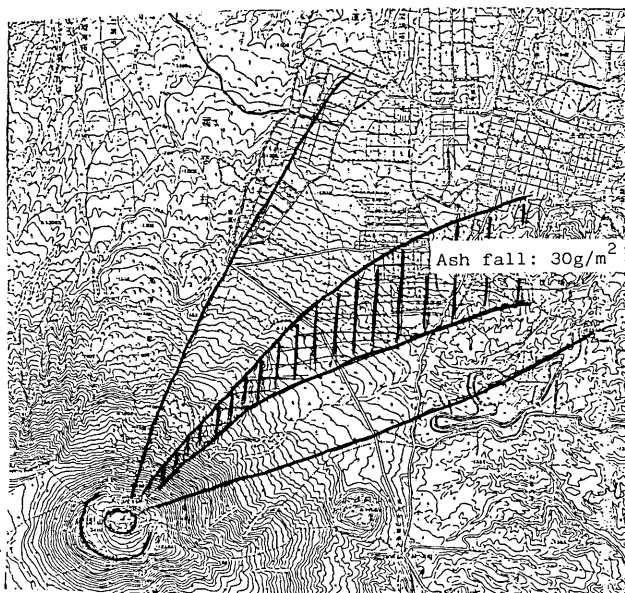


浅間山の1982年10月2日の小噴火*

東京大学地震研究所浅間火山観測所

本会報¹⁾にも述べたように、浅間山は4月26日噴火以来特に顕著な表面現象はなかったが、10月2日09h 58m50s頃小噴火があった。この噴火は爆発音を伴わず、少量の火山灰が北東部に流れ、浅間牧場の降灰で確認出来た程度のものであった。第1図に示すように、降灰の主軸は北東部で、浅間牧場での降灰は1 m²に30 gほどであった。



第1図 1982年10月2日の小噴火の降灰域

Fig. 1 Ash fall area of the October 2, 1982 small eruption.

4月26日の噴火後、小振幅の火山微動が時々観測されていた。9月26, 28, 29日に4個のやや深いA型地震が観測され、30日18h—21hの短時間に287個(三の鳥居)の浅い地震の頻発があった。そのあと噴火に至るまでは地震数は平常のレベルに戻ったが、10月2日に小噴火があった。10月4日以降、火山微動が多く観測された。

参 考 文 献

- 1) 東京大学地震研究所浅間火山観測所(1982): 浅間山の1982年1月1日より10月24日までの地震活動と噴火による山頂火口内部の地形変化, 噴火予知連会報 26. 22—24.

* Received Dec. 6, 1982